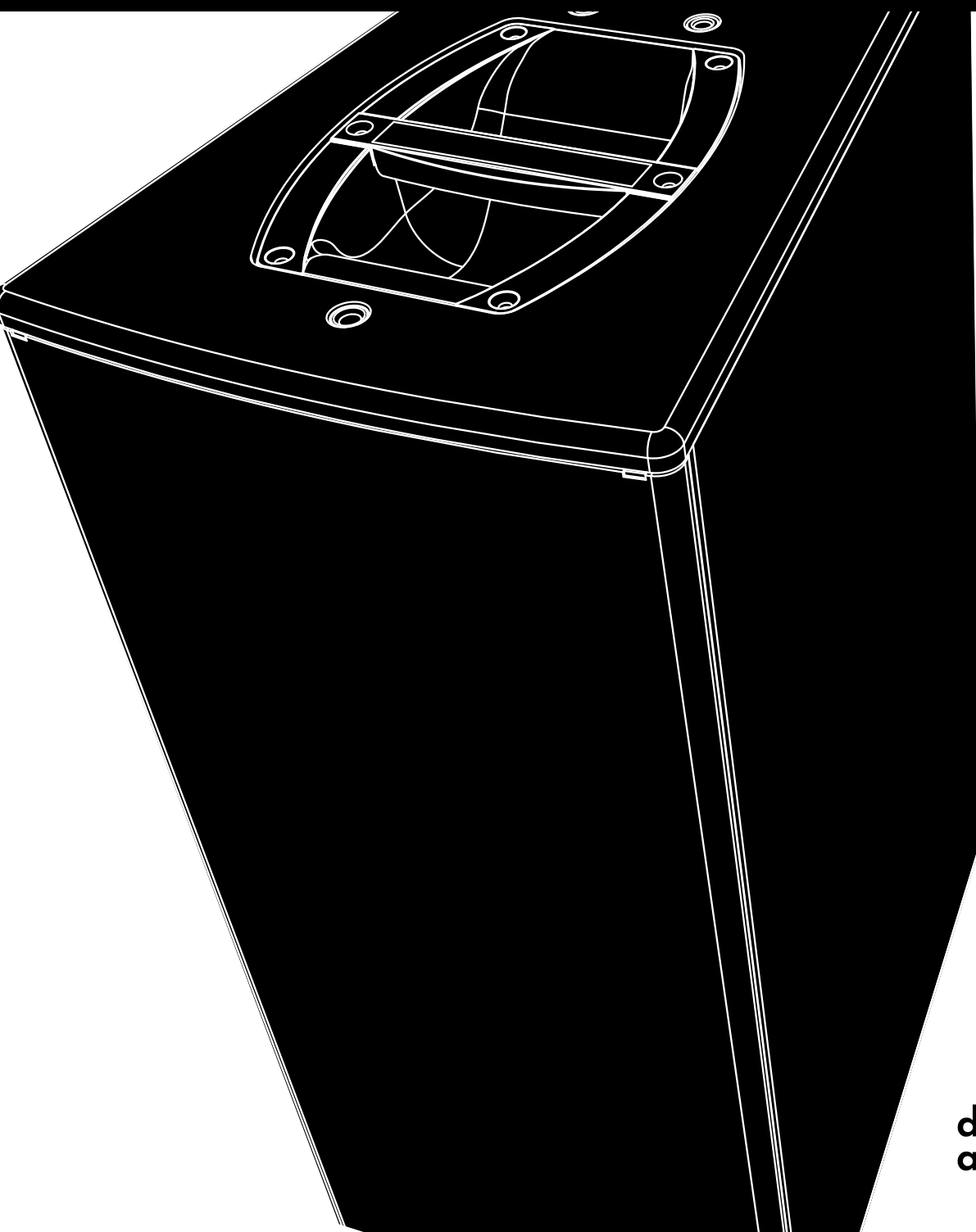


# V

## V7P/V10P マニュアル 1.4 ja



## 概説

V7P/V10P マニュアル

バージョン 1.4 ja, 12/2022, D2722.JP .01

Copyright © 2022 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

**本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。**

本説明書の最新版が発行されていないか、d&b ウェブサイトで定期的にチェックされることをお勧めします。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG  
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang, Germany  
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00

# 目次

<b>1</b>	<b>安全上の注意</b> .....	<b>4</b>
<b>2</b>	<b>V7P/V10P ラウドスピーカー</b> .....	<b>5</b>
2.1	製品説明.....	5
2.2	接続.....	6
2.3	使用.....	6
2.3.1	コントローラーの設定.....	7
2.4	指向特性.....	8
2.5	技術仕様.....	10
<b>3</b>	<b>製造者宣言</b> .....	<b>12</b>
3.1	LOUDSPEAKERの EU 適合性 (CE マークについ て) .....	12
3.1.1	WEEE 宣言 (廃棄について) .....	12

## 人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量（約 95 dB の音圧レベル SPL から）であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

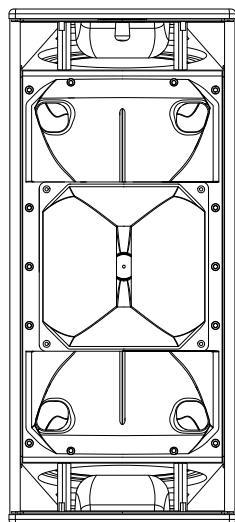
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびギングマニュアル」に詳細が記載されているアクセサリの正しい使用法および最大荷重量に注意を払って行ってください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

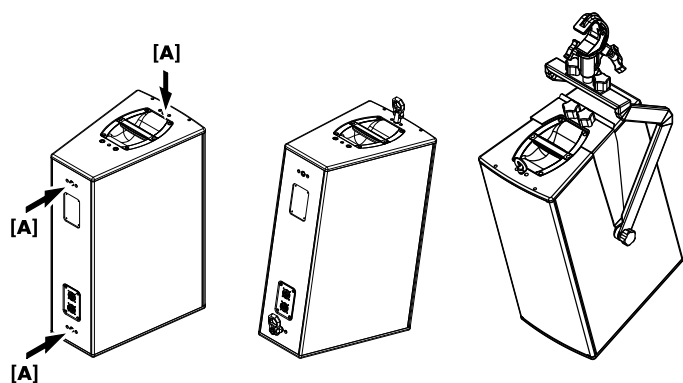
## 機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

## 2 V7P/V10P ラウドスピーカー



V7P/V10P ラウドスピーカー



### 2.1 製品説明

V7P/V10P は、低域に 2 台の 10 インチドライバー、中域には 1 台の 8 インチホーンロードドライバーと高域には 2 台の 1.4 インチコンプレッションドライバーを内蔵するパッシブ 3 ウェイラウドスピーカーです。回転可能な定指向性ホーンによって 75° x 40° (V7P) および 110° x 40° (V10P)の公称指向角度 (h x v) を生み出します。

全てのコンポーネントは、完全に対称な指向パターンとなるようにキャビネットの中心軸を基点に対称となるように設計されています。この設計により、隣接するクロスオーバー周波数帯域のオーバーラップを正確に定義した設計が可能となり、垂直方向に一貫する正確な指向特性が実現します。低域は、ドライバーを双極状に配置することでパッシブ 3 ウェイデザインでは極めて優れた広帯域に渡る垂直指向制御を約 350 Hz まで維持することが可能となっています。

周波数特性は 59 Hz から 18 kHz です。

ラウドスピーカーキャビネットは、船舶用合板製で耐衝撃・耐天候仕上げ（ポリウレアキャビネット保護）が施されています。上面と下面にはハンドルが内蔵されています。前面は、裏面に音響的に透過性のあるフォームが取り付けられた頑丈なメタルグリルで保護されています。

キャビネットには 3 箇所異なるリギング金具が装備されています。

- 上面と下面に装備されている M10 ネジ穴は Z5383 VP マウンティング Z5384 VP フライイングアダプターまたは Z5388 VP ホリゾンタルブラケットに対応します。
- 上面パネルに 1 箇所、背面パネルに 2 箇所の 3 箇所のコンビンソケット [A]は、
  - Q9032 セーフティアイボルト M10（2次セーフティ装置の取り付け用）、および
  - Z5049 フライングピン 8 mm（単体でキャビネットを吊り下げる場合やアレイ角度の固定用）に対応します。

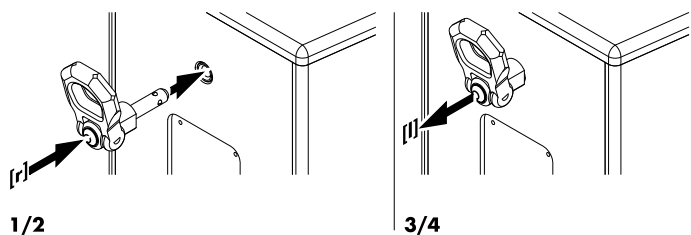
### Z5049 フライングピンの用途

**警告!**  
人体に傷害を与えたり、機器の損傷の恐れがあります。

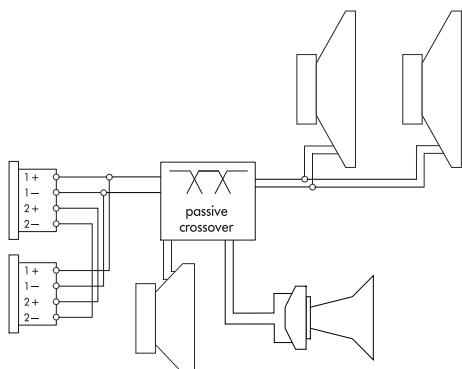
Z5049 フライングピン 8 mm は静止状態の荷重のみを意図して設計されています。このため、必ず以下に従ってください。

- フライングピン自身を 2 次セーフティに直接取り付け無いでください。
- 荷重を掛ける前にフライングピンが完全にロックされているかを必ず確認してください。

手順は以下の通りです。



1. ボタンを押してロックを解除します ([r] →)。
2. フライングピンを対応するソケットに完全に挿入してください。
3. ボタンを離すことでピンをロックします ([l] ←)。
4. フライングピンが確実に固定されているかどうかを、フライングピンを軽く引っ張って確認します。



コネクタの結線

## 2.2 接続

キャビネットには NLT4 F/M コネクタが取り付けられています。双方のコネクタの全 4 本のピンは並列に接続されています。キャビネットは 1+/1- のピン配列を使用します。2+/2- ピンはアクティブサブウーファー用です。片方のコネクタをインプットとして使用すれば、もう片方のコネクタと第 2 キャビネットを直接接続することができます。

同キャビネットは、オプションで NL4 M または EP5 コネクタを選択することも可能です。

各コネクタのピン配列は下の表に示しています。

NLT4 F/M NL4 M	1+	1-	2+	2-	なし
EP5	1	2	3	4	5

## d&b LoadMatch

D80 アンププラットフォーム以降では、LoadMatch 機能によってアンプが使用されるスピーカーケーブルの特性を電氣的に補填されるので追加導線が必要ありません。このため、LoadMatch は使用するコネクタの種類に関係なく使用することが可能です。

## 2.3 使用

### 注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

### 使用可能な d&b アンプ:

D80|D40|D20|D12.

用途	設定	チャンネル/キャビネット
V7P	V7P	2
V10P	V10P	2

本機種に対応する d&b アンプのコントローラーセットアップは Dual Channel および (または) Mix TOP/SUB モードで使用できます。4 芯ケーブルを使ってアクティブサブウーファーと接続する場合には、Mix TOP/SUB モードを選択します。

### 2.3.1 コントローラーの設定

音響特性を調整するためには、CUT、HFA そして CPL 機能が選択できます。

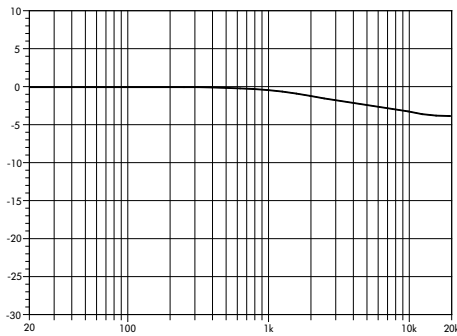
#### CUT モード

CUT に設定すると、低域レベルが減少され、キャビネットは、アクティブドライブの d&b サブウーファーと組み合わせて使えるように設定されます。

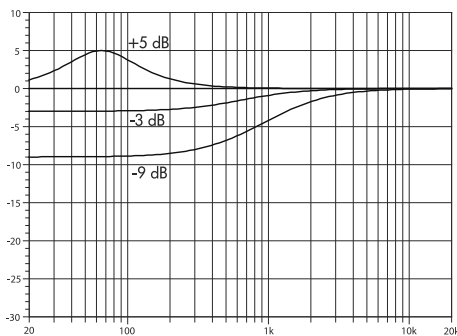
#### HFA モード

HFA（高域減衰）モードではシステムの高周波特性を、ロールオフします。HFA 回路は、ラウドスピーカーが聴衆に近接したニアフィールドに設置される時やディレイ用途の場合、自然で均一な周波数特性を提供します。

高域の減衰は 1 kHz から徐々に始まり、10 kHz でおよそ 3 dB 減衰します。このなだらかな減衰は、残響が多い空間や客席でシステムから離れて音を聴くときに体感する周波数特性の変化とよく似ています。



HFA モードの補正周波数特性



CPL 機能の補正周波数特性

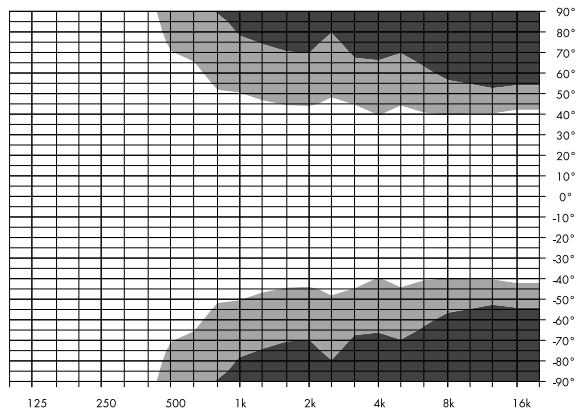
#### CPL 機能

CPL（カップリング：Coupling）機能は、キャビネットと密接する境界面間のカップリングによる影響を補正します。CPL はおよそ 1 kHz から徐々に減衰が始まり、400 Hz 以下で最大の減衰がかかります。バランスのとれた周波数特性を実現するために、CPL 機能を 0 から -9 の間の dB 単位の減衰値に設定することができます。

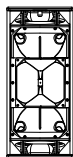
CPL 値をプラス数値（0 ~ +5 dB）にすると、およそ 65 Hz の低域を盛り上げることができます。この数値は、システムをサブウーファーを使用しないフルレンジモードで使用する際に設定できます。

## 2.4 指向特性

下のグラフに単独のキャビネットの周波数における指向角度を-6 dB および-12 dB の音圧を線に置き換えた等圧線（アイソバー）で表示しています。

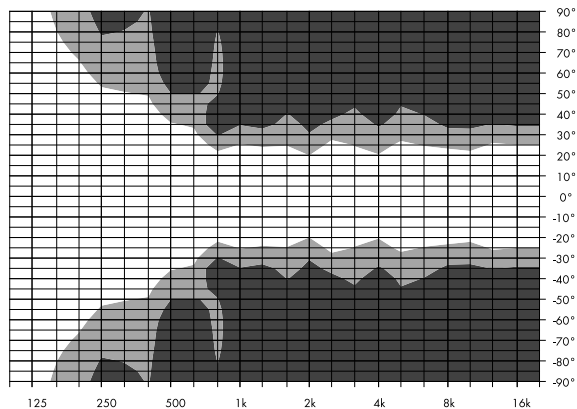


アイソバー、水平

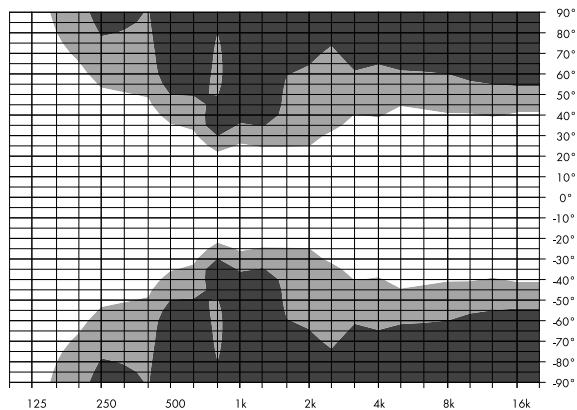


V7P

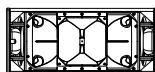
垂直セットアップ



アイソバー、垂直

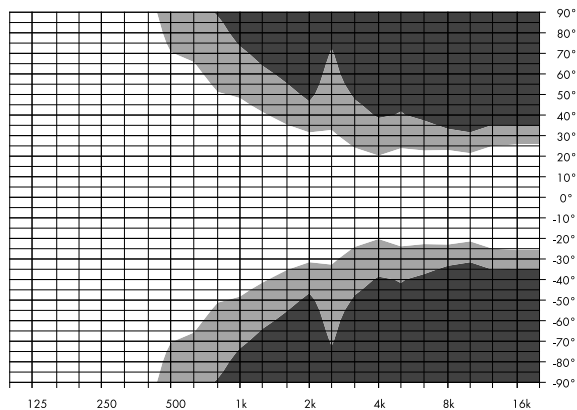


アイソバー、水平



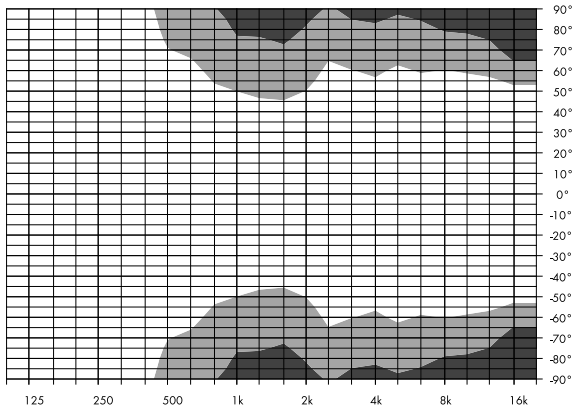
V7P

水平セットアップ、  
ホーン回転

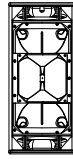


アイソバー、垂直



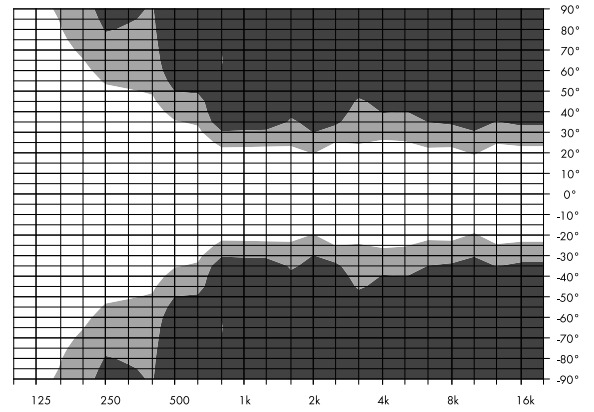


アイソバー、水平

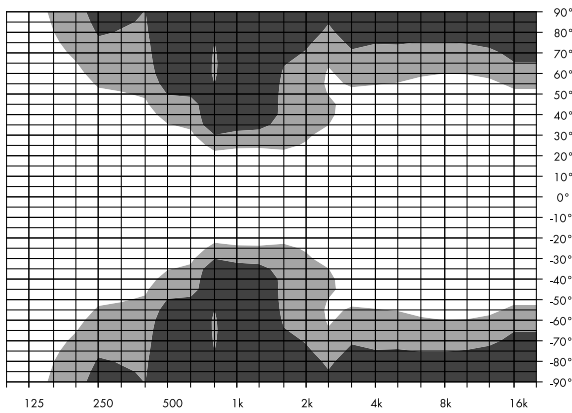


V10P

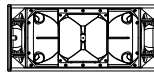
垂直セットアップ



アイソバー、垂直

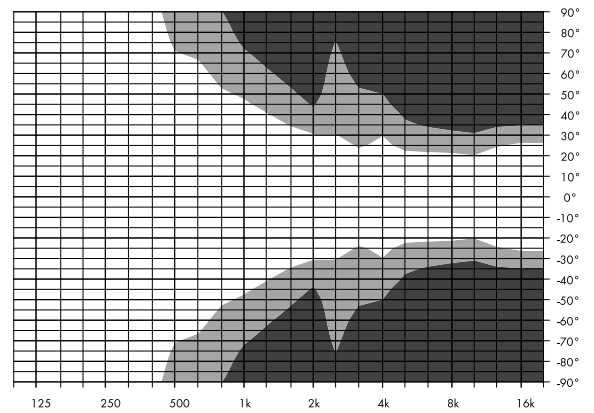


アイソバー、水平

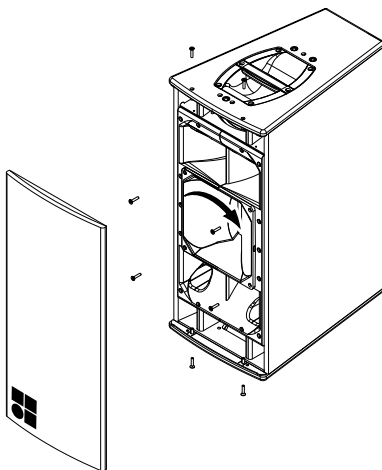
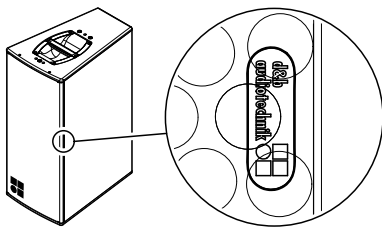


V10P

水平セットアップ、  
ホーン回転



アイソバー、垂直



HF ホーンの回転

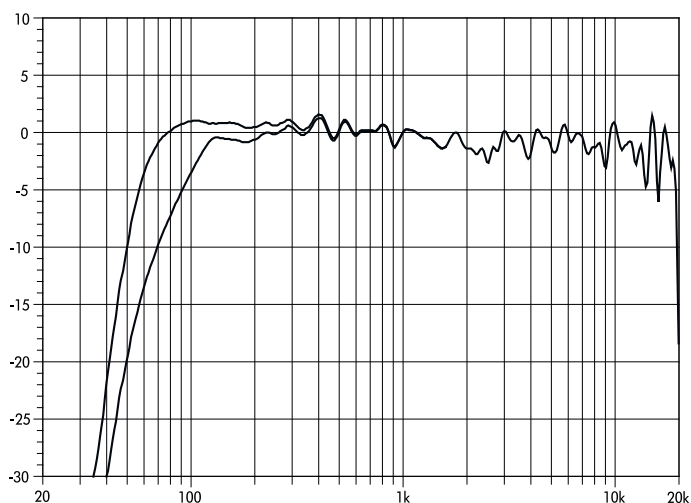
### HF ホーンの指向性変更

工場出荷時には、キャビネットを直立させた状態で公称指向角度となる HF ホーンの向きで設定されています。これはホーンフランジ上の白いラベルによって確認できます。このラベルは、キャビネットの両側にあるフロントグリルを通して見えるようになっています（左図参照）。

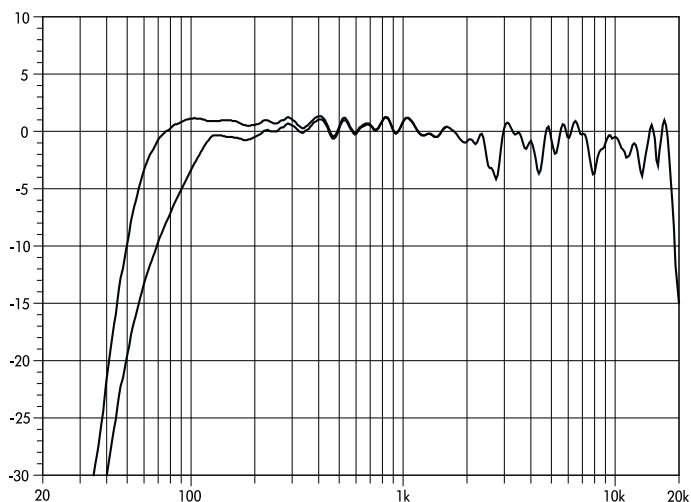
HF ホーンは 90° 回転することができます。

**必要工具：**トルクスレンチ (#TX20)。

1. トップパネルとボトムパネルのトルクスネジを緩め、フロントグリルを取り外します。
2. ホーンフランジを固定しているネジを緩め、ホーンを回します。
3. 次の要領でホーンを再び固定してください。
  - ホーンのカセットが正しい位置にあることを確認してください。
  - ホーンを再び固定してください。
  - 全てのネジを取り付け、皿ネジの頭が受け部表面からはみ出さないように時計回りにネジを回します。
4. フロントグリルを再び固定してください。



V7P 周波数特性 標準、CUT 設定



V10P 周波数特性 標準、CUT 設定

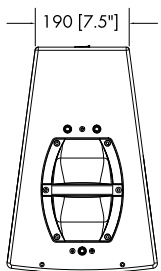
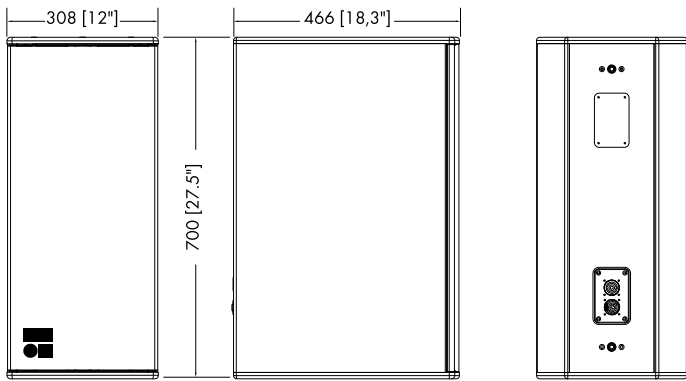
## 2.5 技術仕様

### V7P/V10P システムデータ

周波数特性 (-5 dB スタンダード)	.....59 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-5 dB CUT モード)	.....100 Hz - 18 kHz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)	.....
V7P と D20/D12	.....137 dB
V7P と D80/D40	.....140 dB
V10P と D20/D12	.....136 dB
V10P と D80/D40	.....139 dB
.....(最大 SPL ピーク、テスト信号 CF4 のピンクノイズ)	

### V7P/V10P ラウドスピーカー

公称インピーダンス	.....8 Ω
許容入力 (RMS/ピーク 10 ms)	.....500/2000 W
公称指向角度 (水平) V7P	.....75°
公称指向角度 (水平) V10P	.....110°
公称指向角度 (垂直)	.....40°
コンポーネント	.....ネオジミウム磁性体構造 2 x 10 インチ LF ドライバー
	.....ネオジミウム磁性体構造 1 x 8 インチ MF ドライバー
	.....1.4 インチ スロットコンプレッションドライバー
	.....パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクタ	.....2 x NLT4 F/M
	.....2 x NL4 M または 2 x EP5 (オプション)
ピン配列	.....NLT4 F/M および NL4 M: 1+/1-
	.....EP5: 1: + / 2: -
重量	.....33 kg (75 lb)



V7P/V10P キャビネット寸法 mm [インチ]



#### 3.1 ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

**d&b Z0704 V7P ラウドスピーカー、**

**d&b Z0705 V10P ラウドスピーカー、**

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト [www.dbaudio.com](http://www.dbaudio.com) からダウンロードすることもできます。

##### 3.1.1 WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg.-Nr. DE: 13421928



